

2 大豆

(1) 国際的な大豆需給の概要

○2008/09年度の大豆需給（予測）のポイント

大豆の供給面では、昨年度にとうもろこしへの作付転換により縮小した米国の作付けが、大豆価格の高騰やとうもろこしの連作障害への懸念などから拡大する見込みであり、世界の生産量も増加が見込まれている。

需要面では、中国、アルゼンチン等で搾油用需要を中心に拡大し、世界の消費量は増加が見込まれている。

期末在庫量については、生産量が消費量を上回るものの、消費量の増加から期末在庫率は前年より低下すると見込まれる。

【生産量】

生産量は、インドで減少するものの、世界第1位の生産国で主要輸出国である米国の作付け拡大などから、世界全体では前年度より19.8百万トン増加（9.1%）し、238.0百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.6百万トン上方修正されており、国別には米国が下方修正され、アルゼンチン、中国等で上方修正された。

【消費量】

消費量は、EU等で減少するものの、中国、アルゼンチン等で搾油需要を中心とした増加が見込まれ、世界全体では前年度より6.7百万トン増加（2.9%）し、236.8百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で1.1百万トン下方修正されており、国別には米国等が下方修正され、EU等が上方修正された。

【貿易量】

世界全体の貿易量は、前年度より1.4百万トン減少（▲1.7%）し、77.6百万トンとなる見込みである。

国別には、輸出国では米国で輸出量の減少が、ブラジルで増加が見込まれている。一方、輸入国では、貿易量の4割強を輸入する中国で生産量の増加により輸入量の減少が見込まれている。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で1.9百万トン上方修正されており、国別にはアルゼンチン、パラグアイ等の輸出量、EU、アルゼンチンの輸入量が上方修正された。

【期末在庫量】

期末在庫量は、生産量が消費量を上回ることから世界全体では前年度より1.1百万トン増加（2.2%）し、51.2百万トンとなるものの、消費量が増加していることから期末在庫率は21.6%に低下する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で2.0百万トン上方修正されており、国別には中国、アルゼンチン等が上方修正された。

表－1 世界の大豆需給

(単位:百万トン)

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	236.6	218.2	238.0	0.6	9.1
米国	86.8	70.4	79.8	▲ 1.1	13.5
ブラジル	59.0	61.0	62.5	-	2.5
アルゼンチン	48.8	46.5	50.5	1.0	8.6
中国	15.2	13.5	16.5	0.5	22.2
インド	7.7	9.3	9.2	0.1	▲ 1.1
パラグアイ	6.2	6.8	7.2	-	5.9
カナダ	3.5	2.7	3.2	0.1	17.4
消費量	224.8	230.1	236.8	▲ 1.1	2.9
うち搾油用	195.5	203.0	206.4	▲ 1.3	1.7
米国	53.2	51.0	53.1	▲ 0.8	4.0
中国	45.4	48.9	51.6	0.3	5.6
アルゼンチン	35.1	36.9	39.0	▲ 0.2	5.9
ブラジル	34.0	35.2	35.5	-	0.9
EU-27	16.1	16.2	15.0	0.6	▲ 7.4
インド	7.7	9.2	9.2	0.1	▲ 0.4
日本	4.3	4.3	4.3	-	0.0
貿易量 (輸出)	71.5	79.0	77.6	1.9	▲ 1.7
米国	30.4	31.4	27.2	-	▲ 13.4
ブラジル	23.5	25.5	27.5	-	7.8
アルゼンチン	9.6	13.5	13.9	1.0	3.0
パラグアイ	4.5	5.1	5.4	0.8	6.3
カナダ	1.7	1.8	1.7	0.1	▲ 5.8
(輸入)					
中国	28.7	36.5	36.0	-	▲ 1.4
EU-27	15.3	15.4	14.4	0.7	▲ 6.8
日本	4.1	4.1	4.1	-	0.0
メキシコ	3.9	3.8	3.6	-	▲ 2.9
アルゼンチン	2.0	3.0	3.3	0.7	12.7
台湾	2.4	2.3	2.3	-	2.2
タイ	1.5	1.6	1.7	-	3.1
期末在庫量	62.7	50.1	51.2	2.0	2.2
アルゼンチン	22.6	21.7	22.6	0.4	4.1
ブラジル	18.2	18.6	18.3	0.3	▲ 1.8
米国	15.6	3.8	3.7	▲ 0.0	▲ 3.8
中国	2.7	3.4	3.9	1.0	15.8
EU-27	1.1	1.0	1.0	0.2	▲ 4.3
期末在庫率	27.9%	21.8%	21.6%	0.9	▲ 0.2

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」
「World Agricultural Production」

(2) 大豆の主要生産・輸出国等の需給状況

ア 米国

【需給状況】

米国の生産量は、主産地である中西部での天候不順や洪水による生育の遅れが見られるものの、昨年度に大幅に縮小した作付けが大豆価格の高騰やとうもろこしの連作障害への懸念などから拡大する見込であり、前年度より9.4百万トン増加（13.5%）し、79.8百万トンとなる見込みである。

消費量は、搾油用の消費は減少するものの、他の分野での消費量の増加が見込まれることから前年度より2.1百万トン増加（4.0%）し、53.1百万トンとなる見込みである。

輸出量は、生産量は増加するものの在庫水準が低下していることやブラジルの輸出量増加見込みなどから、4.2百万トン減少（▲13.4%）し、27.2百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は前年度と同水準の3.7百万トンとなり、期末在庫率も前年度と同水準の4.6%と引き続き低水準となる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、中西部の乾燥天候による単収の下方修正から生産量が1.1百万トン下方修正され、搾油用の消費量も0.8百万トン下方修正された。また、輸入量は0.1百万トン上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

米国の大豆の主要18州の生育進捗状況については、44%が落葉期を迎えたが、天候不順による作付けの遅れなどで生育は遅れており、落葉率は過去5年の平均に比べ20ポイント（前年に比べ26ポイント）ほど進捗が遅れている。生育の遅れから、秋の早霜などに遭う天候リスクなど、中西部などの今後の天候に注視が必要である。

作柄については、優良が11%と前年度の同時期や最終より下回っているが、優良～普通までの合計では86%と前年度の最終の83%を上回っている。

なお、主要産地の中西部では、8月の乾燥天候は単収を低下させたと見られており、また、生育の遅れから早霜などのリスクもあり、今後の天候に引き続き注視が必要である。

我が国の輸入先国シェア 1位（2007年数量ベース79.9%）
世界の生産量シェア 1位（2008/09年度33.6%）
輸出量シェア 2位（2008/09年度35.1%）

表－2 米国の大豆需給（市場年度：9月～翌年8月）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	86.8	70.4	79.8	▲ 1.1	13.5
消費量	53.2	51.0	53.1	▲ 0.8	4.0
うち搾油用	49.2	49.4	48.6	▲ 0.8	▲ 1.7
輸出量	30.4	31.4	27.2	-	▲ 13.4
輸入量	0.3	0.3	0.3	0.1	0.0
期末在庫量	15.6	3.8	3.7	▲ 0.0	▲ 3.8
期末在庫率	18.7%	4.6%	4.6%	0.1	0.0
(参考)					
収穫面積(百万ha)	30.19	25.42	29.68	-	16.8
単収(t/ha)	2.87	2.77	2.69	▲ 0.04	▲ 2.9

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」

○ 米国大豆の生育進捗状況及び作柄（9月21日現在）

〔生育進捗状況〕

落葉率 44% （平年差：▲20 p、前年差：▲26 p）

〔作柄〕

		単位：%				
		優良	良	普通	不良	極不良
大豆	2008/09	11	46	29	10	4
	前年度同時期	14	44	26	11	5
	前年度最終	14	43	26	11	6

注：優良-Excellent、良-Good、普通-Fair、不良-Poor、極不良-Very Poor

資料：USDA「Crop Progress」

注：生育進捗状況の（ ）内は前年同時期及び同時期の平年値（過去5年）との比較である。

イ ブラジル

【需給状況】

ブラジルの生産量は、リアル高や厳しい経営が続いているが、価格高騰による作付け拡大などから前年度より1.5百万トン増加（2.5%）し、62.5百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度より0.3百万トン増加（0.9%）し、35.5百万トンとなる見込みである。

輸出量は、生産量の増加に伴い前年度より2.0百万トン増加（7.8%）し、27.5百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、0.3百万トン減少（▲1.8%）し、18.3百万トンとなり期末在庫率も29.0%（1.7ポイント減）と低下する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、2007/08年度の期末在庫量が0.3百万トン上方修正されたことによる2008/09年度の期首在庫の上方修正された期末在庫量も0.3百万トン上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

ブラジルの大豆の作付けは、10月下旬頃から始まる。

なお、2007/08年度は、一部地域でラニーニャ現象による降水量の減少や大豆さび病の発生等があったが、生産には大きな影響を及ぼさなかった。

ウ カナダ

【需給状況】

カナダの生産量は、昨年度に低下した単収が上昇する見込みであることから、前年度より0.5百万トン増加（17.4%）し、3.2百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度と同水準の1.7百万トンとなる見込みである。

輸出量は、生産量が回復するものの在庫水準が低水準にあることなどから0.1百万トン減少（▲5.8%）し、1.7百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、前年より0.1百万トン増加（37.0%）し、0.2百万トンとなり、期末在庫率は5.8%（1.6ポイント増）となる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、単収の上方修正を受け、生産量が0.1百万トン上方修正された。さらに、輸出量が0.1百万トン上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

カナダの大豆は成熟期に入っており、9月上旬には、マニトバ州東部及び中部の大豆は色が変わり始めている。最も早い品種では葉が落ち、さやが黄色に変わる落葉期であり、実入りの最終段階に近いので、今後の天候に注視が必要である。

我が国の輸入先国シェア 2位（2007年数量ベース 8.8%）
世界の生産量シェア 2位（2008/09年度26.3%）
輸出量シェア 1位（2008/09年度35.4%）

表－3 ブラジルの大豆需給（市場年度：10月～翌年9月）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09			
			予測値(Oil.W)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)	
生産量	59.0	61.0	62.5 (60.7)	-	2.5	
消費量	34.0	35.2	35.5 ...	-	0.9	
うち搾油用	31.1	32.3	32.5 ...	-	0.8	
輸 出 量	23.5	25.5	27.5 ...	-	7.8	
輸 入 量	0.1	0.2	0.2 ...	-	6.7	
期末在庫量	18.2	18.6	18.3 (21.7)	0.3	▲1.8	
期末在庫率	31.6%	30.7%	29.0% ...	0.5	▲1.7	
(参考)						
収穫面積(百万ha)	20.70	21.30	22.00 (21.60)	-	3.3	
単収(t/ha)	2.85	2.86	2.84 (2.81)	-	▲0.7	

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」
「World Agricultural Production」
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly (September 2008)」

我が国の輸入先国シェア 3位（2007年数量ベース 7.4%）
世界の生産量シェア 7位（2008/09年度 1.3%）
輸出量シェア 5位（2008/09年度 2.2%）

表－4 カナダの大豆需給（市場年度：8月～翌年7月）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09			
			予測値(AAFC)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)	
生産量	3.5	2.7	3.2 (3.2)	0.1	17.4	
消費量	2.0	1.7	1.7 (1.9)	0.0	2.5	
うち搾油用	1.5	1.4	1.5 ...	-	6.4	
輸 出 量	1.7	1.8	1.7 (1.7)	0.1	▲5.8	
輸 入 量	0.2	0.3	0.4 (0.4)	-	16.7	
期末在庫量	0.7	0.1	0.2 (0.2)	▲0.0	37.0	
期末在庫率	18.4%	4.1%	5.8% (4.3%)	▲0.7	1.6	
(参考)						
収穫面積(百万ha)	1.20	1.17	1.21 (1.21)	-	3.4	
単収(t/ha)	2.88	2.31	2.62 (2.62)	0.09	13.4	

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」
「World Agricultural Production」
AAFC「Pulse and Special Crops Outlook (September 3, 2008)」

エ 中国

【需給状況】

中国の生産量は、北東部の作付け面積の増加と昨年度干ばつにより低下した単収の回復が見込まれることから、前年度より3.0百万トン増加(22.2%)し、16.5百万トンとなる見込みである。

消費量は、搾油用需要の増加等から前年度より2.7百万トン増加(5.6%)し、51.6百万トンとなる見込みである。

輸出量は、前年と同水準の0.4百万トンとなる見込みである。一方、輸入量は生産量の増加に伴い0.5百万トン減少(▲1.4%)し、36.0百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、前年度より0.5百万トン増加(15.8%)し、3.9百万トンとなり、期末在庫率も生産量の増加により期末在庫量が積み増しされることから、7.5%(0.7ポイント増)となる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、単収の上方修正により生産量が0.5百万トン、消費量が0.3百万トン上方修正された。加えて2007/08年度の入量の上方修正による2008/09年度の期首在庫の上方修正から期末在庫量も1.0百万トン上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

中国北東部の主要産地では、8月初旬に適度の降水量に恵まれ、大豆の生育は順調に推移し、現在は収穫期を迎えている。

【貿易情報】

中国については、増値税の輸出還付を取消し、輸出税を課している。

オ アルゼンチン

【需給状況】

アルゼンチンの生産量は、価格高騰による作付け拡大やとうもろこしの生産コスト高などによる大豆への作付転換などから前年度より4.0百万トン増加(8.6%)し、50.5百万トンとなる見込みである。

消費量は、搾油用需要の増加から前年度より2.1百万トン増加(5.9%)し、39.0百万トンとなる見込みである。

輸出量は、中国の入量の増加により、0.4百万トン増加(3.0%)し、13.9百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、前年度より0.9百万トン増加(4.1%)し、22.6百万トンとなるものの、消費量及び輸出量が生産量を上回ることから、期末在庫率は42.7%(0.4ポイント減)と低下する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、収穫面積の上方修正により生産量が1.0百万トン、輸出量が1.0百万トン、輸入量が0.7百万トン、期末在庫量が0.4百万トンそれぞれ上方修正され、消費量が0.2百万トン下方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

アルゼンチンの大豆の作付けは、11月頃から始まる。なお、昨年度(2007/08年度)の収穫は終了しており、開花期の天候不順で生産量は前々年度を下回った。

【貿易情報】

輸出税に関する新たな制度の導入を巡り農牧団体等がストライキを実施。その後、同制度の関連法案は廃案となった。なお、現在も従前の輸出税は賦課されている。

我が国の輸入先国シェア 4位 (2007年数量ベース 3.3%)
世界の生産量シェア 4位 (2008/09年度 6.9%)
輸入量シェア 1位 (2008/09年度 46.4%)

表-5 中国の大豆需給 (市場年度: 10月~翌年9月)

年度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(Oil.W)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	15.2	13.5	16.5 (16.4)	0.5	22.2
消費量	45.4	48.9	51.6	0.3	5.6
うち搾油用	35.5	38.8	41.2	0.2	6.4
輸出量	0.5	0.5	0.4	-	▲ 11.1
輸入量	28.7	36.5	36.0	-	▲ 1.4
期末在庫量	2.7	3.4	3.9	1.0	15.8
期末在庫率	5.8%	6.8%	7.5%	1.9	0.7
(参考)					
収穫面積(百万ha)	9.10	8.70	9.40 (9.35)	-	8.0
単収(t/ha)	1.67	1.55	1.76 (1.75)	0.06	13.5
資料: USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、 「Oilseeds: World Markets and Trade」、 「World Agricultural Production」、 OIL WORLD「OIL WORLD Monthly (September 2008)」					

世界の生産量シェア 3位 (2008/09年度 21.2%)
輸出量シェア 3位 (2008/09年度 17.9%)

表-6 アルゼンチンの大豆需給 (市場年度: 10月~翌年9月)

年度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(Oil.W)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	48.8	46.5	50.5 (50.8)	1.0	8.6
消費量	35.1	36.9	39.0	▲ 0.2	5.9
うち搾油用	33.6	35.4	37.5	▲ 0.2	6.1
輸出量	9.6	13.5	13.9	1.0	3.0
輸入量	2.0	3.0	3.3	0.7	12.9
期末在庫量	22.6	21.7	22.6 (27.3)	0.4	4.1
期末在庫率	50.6%	43.1%	42.7%	0.2	▲ 0.4
(参考)					
収穫面積(百万ha)	16.30	16.37	18.00 (17.80)	0.30	10.0
単収(t/ha)	2.99	2.84	2.81 (2.85)	0.01	▲ 1.1
資料: USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、 「Oilseeds: World Markets and Trade」、 「World Agricultural Production」、 OIL WORLD「OIL WORLD Monthly (September 2008)」					